



四谷地域センター運営委員会コミュニティー誌 令和5年3月発行 No.121

【四谷地域センターのホームページ URL は <http://ycc.tokyo/>】

トルコ、シリア大地震で被災された方々、亡くなられた方々に
深く哀悼の意を表し 心よりご冥福をお祈り申し上げます。



シリーズ「四谷の公園」

「左門公園」

四谷三丁目交差点のすぐ南の左門町内に、こぢんまりとした公園があり近隣の学生や働く人達の憩いの場となっています。

この公園の辺りには昔、学校がありました。新宿区立「四谷第二小学校」です。そして、その小学校が戦災で焼失し、跡地に四谷第二中学校が建てられました。

その後、四谷第二中学校は四谷第一中学校と統合し今の四谷中学校となりました。

跡地には現在、医療関係の専門学校も設けられており、左門公園の中にある紅梅白梅の下には「四谷第二中学校旧跡」の碑があります。

注意

コロナ禍です！

手洗い、うがいは大切です
一人一人気をつけましょう

文化の街 あれこれ

3年ぶりに四谷音楽祭を開催しました！

「歌と弦楽器を味わう初春のひと時～朗読付き～」を振り返って



初春1月22日（日）の午後、久々の四谷音楽祭が開催されました。10月にリニューアルしたばかりの四谷区民ホールを使用し、コロナ禍の制限が徐々に緩和される中、従来の音楽祭とは若干違うかたちではありましたが地元四谷の声楽家 井坂恵さんとそのお仲間の方達をお迎えしての演奏会でした。

会場にはこの音楽祭を待っていてくださったかのように多くのお客様が訪れ、幼児連れのご家族の方もたくさんお見受けして嬉しく思いました。歌や演奏のほかヴァイオリンと朗読のコラボもお楽しみいただき、マスクをつけて4年目を迎えた非日常のなか、素晴らしい演奏にうっとりとしたひと時でした。歌ってくださった曲中に“春になれば何かが変わる”という歌詞がありましたが、皆様が良い春を迎えられる事を願います。



～出演者のご紹介～

井坂 恵 〈メゾ・ソプラノ〉
松川 儒 〈ピアノ〉
城所 素雅 〈ヴァイオリン〉
落合 真悟 〈チェロ〉
松川 駿 〈語り〉

「しんじゅ Quality (クオリティ) みつばちプロジェクト」(第4話)



しんじゅ Quality みつばちプロジェクトが四谷区民センター9階でスタートして今年で5年目を迎えています。令和3年は区民センターの改修工事で1年間活動できませんでしたが、令和4年から無事再開することができました。3月から3群でスタートし、当初は女王蜂の調子が思わしくない時期もありましたが、6月にはそれぞれの群が順調に成育し、採蜜を2度に分け実施しました。今年の蜂蜜は合計42.2kg収穫することができました。

夏場にはガラス越しに多くの見学者の方がお見えになり、作業を行なう障害のある皆さんも、遣り甲斐をもって働くことができたと思います。また、今年は1群だけではありますが、初めて越冬することができそうです。ミツバチも私達も、早く暖かな春が来ることを心待ちにしています。四谷区民センターでは、養蜂作業をガラス越しに安心して見学することができます。4月には本格始動いたしますので、ぜひ見学にお越しください。

社会福祉法人 東京ムツミ会 ファロ管理者 徳堂 泰作



令和4年12月11日(日)新宿スポーツセンターに於いて第42回コミュニティスポーツ中央大会が実施されました。優勝、準優勝、第3位は次の地区と団体です

結果発表	ビーチボールバレー	ユニカール	輪投げ		ポッチャ
			一般の部	60歳以上の部	
優勝	落合第二 「落六ビスケット」	柏木 「北四Aチーム」	若松 「横丁買い出し隊」	落合第二 「西落合クラブB」	榎 「ウエスト WASEDA マーベリック」
準優勝	落合第一 「落合爆笑族」	若松 「一か八か」	四谷 「左門町接骨院」	若松 「戸山ハイツ西地区A」	四谷 「舟町3」
第3位	角筈 「ニョッキーズ」 戸塚 「戸二小ダイコンズ」	大久保 「百三青年部 チャンピオンチーム」 柏木 「北新宿蜀山町会B」	四谷 「アイラブ大京町B」	落合第一 「尚寿会Aチーム」	落合第二 「レットバース」 戸塚 「さとう&こん」



四谷地域センター地域協働事業

「冬休み書初め練習会」開催

「書」同好会 協力

夏休みの子ども書道教室に続き、12月23日（金）と24日（土）の2日間を通して書初め練習会を実施しました。

参加者は四谷地域センターで活動する

地域コミュニティ登録団体「書」同好会のメンバーに大学生のお手伝いも加わったスタッフ14名と、四谷地域に住む小学3年生から中学生の子ども達25名の総勢39名。当センターの多目的ホールを使用し、学校に提出する作品や区民センター1階ロビーに展示する作品作りに取り組みました。子ども達は筆の運び方から教わり、講師のお手本と自分の文字を真剣に見比べながら熱心に取り組んでいて、スタッフは感心すると同時に子ども達との交流を通して元気をもたっていました。



しんじゆく生まれの

内藤とうがらしを使った

親子クッキー作り！（第二回）

前回好評だった内藤とうがらしクッキー作りの第二回目を12月に開催しました。少人数でしたが「前回参加して楽しかったのだ」と、また申し込んでくれた親子の方もいて、とても嬉しく思いました。

今回は他の人にもクッキーを楽しくプレゼント出来る様、簡単なラッピング用品も準備し、子ども達は箱や袋に上手にクッキーを詰めていました。又、「新宿区環境マネジメント」を副

テーマとし、子ども達にマイボトルをプレゼントして地域センターでエコに力を入れてる事をお話ししました。ティーバックを入れて2回目の焼き上がり待ちながら「お父さんにあげるから今回は辛くした」と話すお子さんの嬉しそうな顔がとても印象的でした。



お雛様を楽しもう

「布で作る小さなつるし雛づくり」

つるし雛という飾りをご存じですか？つるし雛とは、女の子が生まれた時に布で小さなお人形や花、動物等を作り、紐を通して吊るした飾りで江戸時代から始まったと言われています。早くお座りが出来る様に布の端切れで座布団を、うさぎの目は魔除けになる等、色々な願いや云われがあり、お子様の成長を祈りながら作られた飾りです。

福岡県の「さげもん」、山形県の「傘福」、静岡県の「雛つるし飾り」は日本三大つるし飾りと言われています。今回、地域センターでは、ちりめん生地を使用し、小さな棒で吊るしたつるし雛を作る講習会を開きました。小学生の参加もあり、和気あいあいの雰囲気の中、皆さん可愛らしい飾りを完成させていました。



編集後記

春の息吹を周囲に感じる頃となりました。

さて、この「四谷」は昭和63年9月に「よつや」として創刊され、平成19年7月の73号からコミュニティ誌「四谷」となりました。昭和・平成・令和を通して今号まで、多くの人が関わり、試行錯誤を重ねながら今に至っており、四谷地域センターの大切な歴史です。その歴史を紡ぐ仕事にたずさわってきた私たちとしては、次の世代にどのようにバトンを渡すか、是非、地域の皆様のお声をお聞かせください。

編集委員会

四谷地域センター主催

四谷ふれあい祭り

令和5年 3月26日（日）開催！

フリーマーケット、喫茶「夢」、ステージ
幼児のあそび場、茶道コーナー、展示等を
予定しています、皆様是非お越しください！